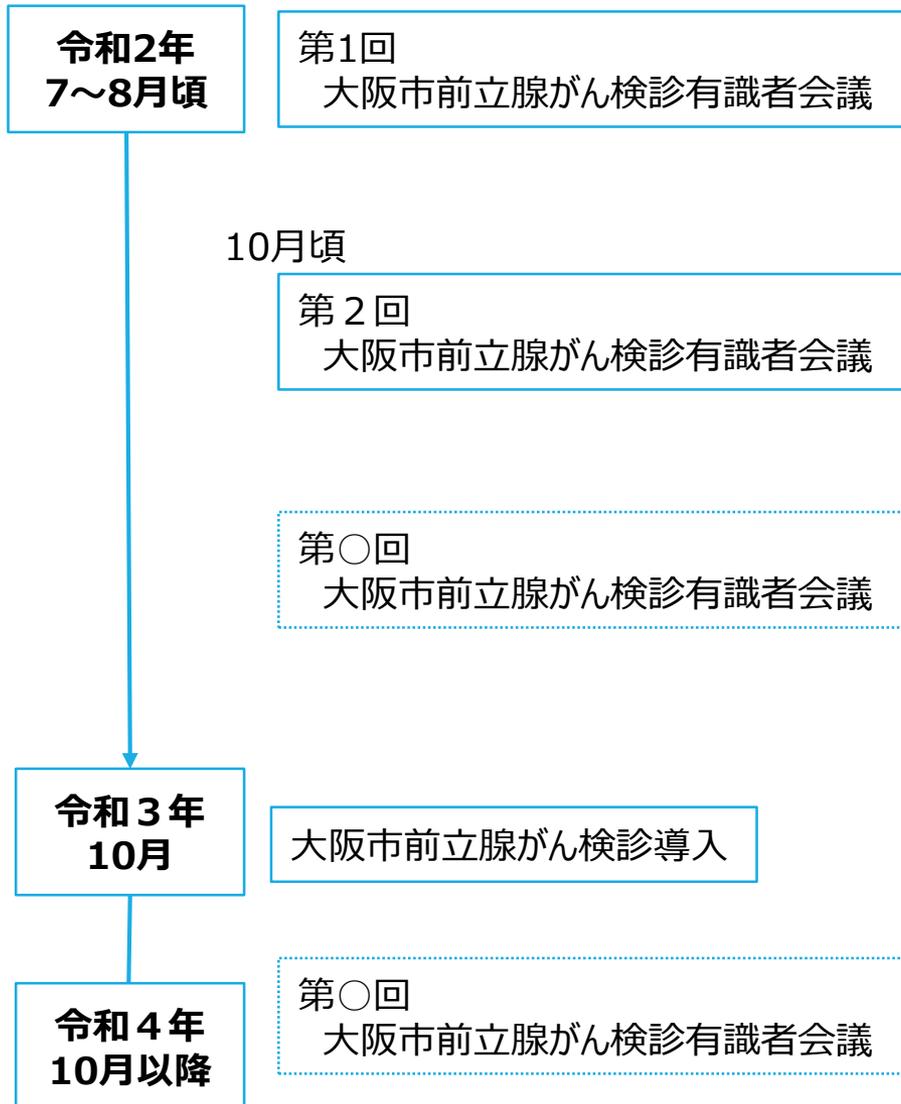

令和2年8月6日(木)

第1回大阪市前立腺がん検診 有識者会議

本日の議題

1. 大阪市における前立腺がん検診の導入について
2. 検診における対象者・検査方法・判定区分について
3. 大阪市前立腺がん検診実施要領（案）について（資料1）
4. （一次）検診取扱医療機関および精検（二次）検診実施医療機関について（資料2、資料3）
5. 受診者記録管理（資料4、資料5）
6. その他（次回に向けて）

今後のスケジュール



- 対象者／検査方法／判定区分
- (一次) 検診方法および検診取扱医療機関
- 精検(二次検診)の実施医療機関
- 受診者記録管理
- 事業評価について指標設定など

- 第1回までの議論の整理
- 検診全体像の確定
- 引続き検討を要する内容について (3回以降へ)

- 第2回までの議論の整理
- 引続き検討を要する内容について

- 第〇回までの議論の整理
- 実績報告／事業評価についての方向性
- 引続き検討を要する内容について

大阪市がん検診の現況

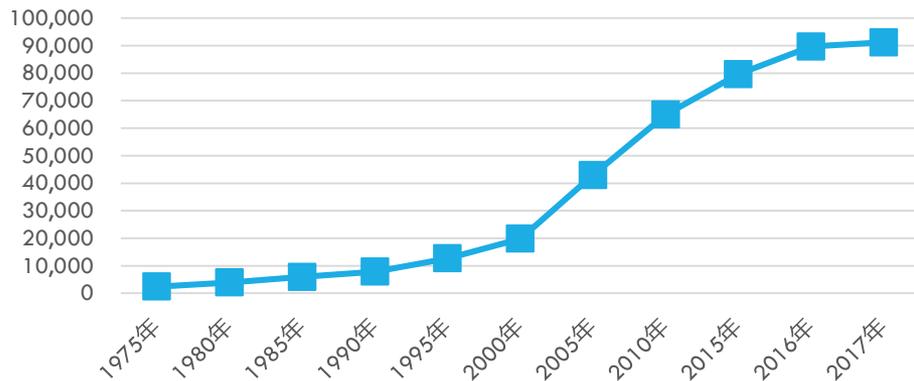
「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の
基づく検診

項目	対象者	自己負担金	R 1 実績
胃がん検診	胃部エックス線：40歳以上 胃内視鏡：50歳以上	1,500円	21,784人 5,466人
大腸がん検診	40歳以上	300円	66,465人
肺がん検診	胸部エックス線：40歳以上 喀痰細胞診検査：50歳以上（喫煙 指数600以上）	無料 400円	(計) 54,642人
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	400円	55,586人
乳がん検診	超音波：30歳代の女性 マンモグラフィ：40歳以上	1,000円 1,500円	10,350人 33,091人

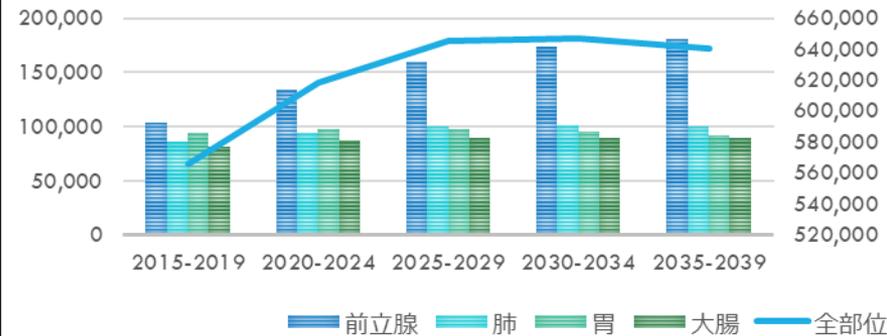
前立腺がんの動向

一般的には欧米人に多くアジア人には比較的少ないと考えられていたが、生活慣習（特に食習慣）の欧米化に伴い、日本でも近年急増。前立腺がんの罹患者数は年々増加し、2017年の男性罹患者数は全がんの中で1位となっている。

前立腺がん罹患者数



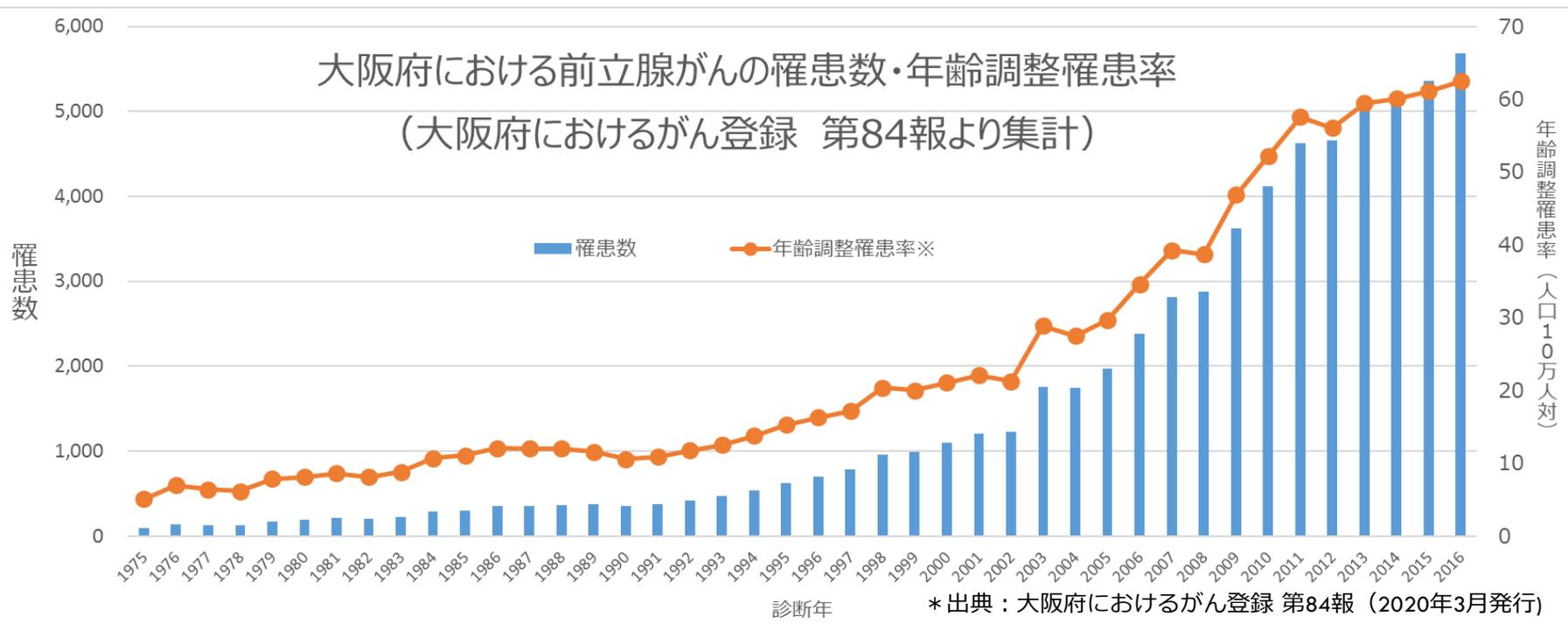
部位別年齢階級別がん罹患者数
(男性; 2015-2039年の年平均)



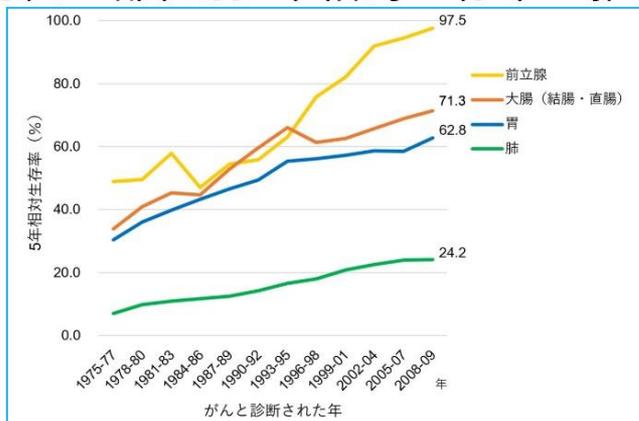
出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

1 大阪市における前立腺がん検診の導入について

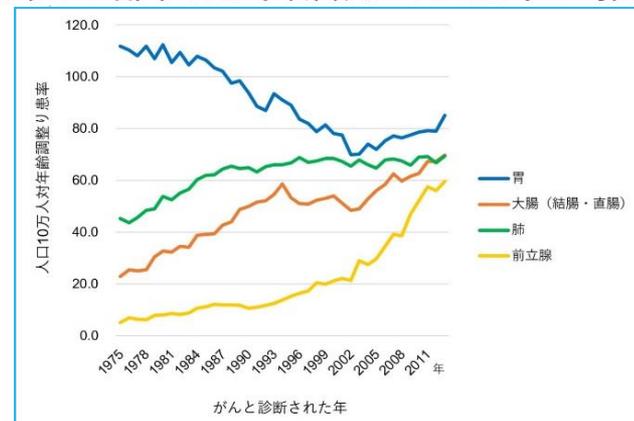
大阪府における前立腺がんの罹患数・年齢調整罹患率
(大阪府におけるがん登録 第84報より集計)



男性の部位別5年相対生存率の推移



男性の部位別年齢調整り患率の推移



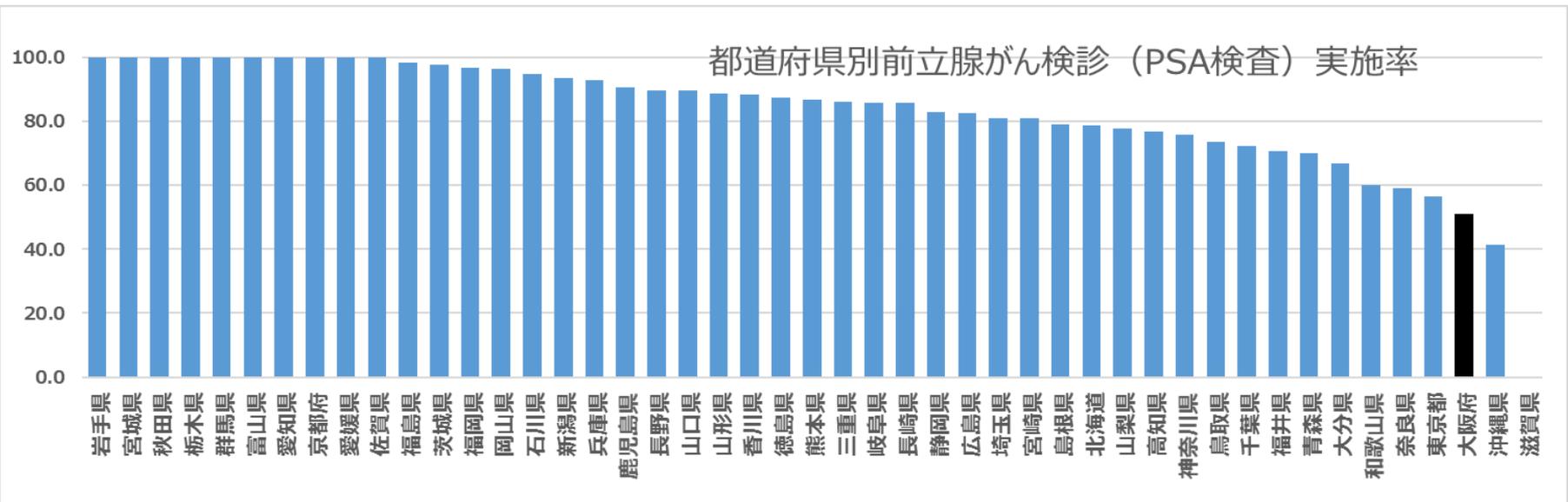
* 出典：大阪府におけるがん登録 第81報 (2017年12月発行)

前立腺がん検診の導入

対象年齢や受診間隔に違いはあるものの、既に全国で8割を超える自治体で前立腺がん検診が実施されており、その数は年々増加している状況である。

□市区町村におけるがん検診実施状況（1737市区町村）

検診部位	検診を実施した市区町村数	実施割合 (%)
胃がん	1735	99.9
肺がん	1731	99.7
大腸がん	1737	100.0
乳がん	1735	99.9
子宮頸がん	1737	100.0
前立腺がん検診（PSA検査）	1432	82.4

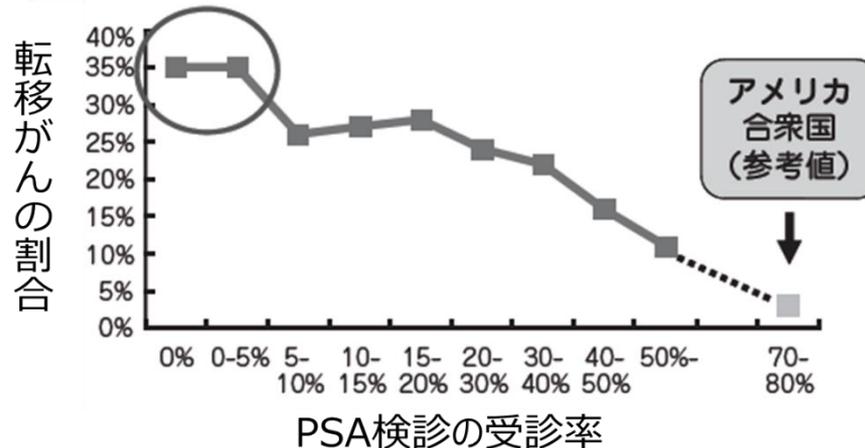


国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より
厚生労働省「市区町村におけるがん検診の実施状況調査2018」

前立腺がん検診の導入

前立腺がんは、自覚症状がほとんどないために発見が遅れることが多く、泌尿器科外来で発見された前立腺がんの約40%は他の臓器に転移がみられている。他方、検診実施により進行がんの罹患率が明らかに減少することが、信頼性の高い研究で証明されている。検診導入により、早期の前立腺がんの発見が期待できる。

群馬県における市町村の住民検診曝露率とがん登録に占める転移がん症例比率



事前調整いただいた内容

		最終意見	補足
対象者	年齢	50～70歳	当初は上限を70歳として開始。数年後に検診の受診状況、効果を評価して見直しを検討
	検診間隔	5年ごと	
判定区分	PSA値による判定基準	年齢別のカットオフ値を設ける 50～64歳：3.0 ng/mL 65～69歳：3.5 ng/mL 70歳以上：4.0ng/ml	
(一次) 検診方法および 検診取扱医療機関		①特定健康診査あるいは他のがん検診との並行実施 ②前立腺がん検診の単独検診のいずれも可とする。 検診取扱い医療機関として、情報収集に協力していただける施設を大阪府医師会、大阪泌尿器科臨床医会を通じて選出あるいは募集する。	想定される被検者の数、居住地域における検診取扱期間などの状況に応じて判断する必要あり 検診結果の報告に協力いただける医療機関

2 検診における対象者・検査方法・判定区分について

	最終意見	補足
精検（二次検診）の実施医療機関	MRIおよび生検が可能な医療機関 一次検診と同様に、大阪府医師会、大阪泌尿器科臨床医会を通じて選出あるいは募集する。	検診結果の報告に協力いただける医療機関
精検後の経過観察（PSAフォロー）	泌尿器科専門医のいる医療機関 二次検診（精検）実施医療機関と連携できる病院（クリニック）を、大阪府医師会、大阪泌尿器科臨床医会を通じて選出あるいは募集する。	検診結果の報告に協力いただける医療機関
受診記録管理	検診の受診者記録は、事務局（大阪市健康局）で管理し、一次検診受診者数およびその結果、二次検診受診者数を集計する。	一次、二次検診（精検）の結果は、各医療機関から、一旦、事務局に送付してもらう
事業評価	データの管理、分析を行える施設を当有識者会議で選定し、一次検診、二次検診の集計・分析を行う。事業の最終評価は、当有識者会議で行う。	個人データは、大阪市個人情報保護条例を遵守し、取り扱いに十分注意する。 検診事業の評価を行うために、前立腺癌診断時のグリソンスコア、TNM分類などの情報を含んだ報告書（ひな型）を作成する。
その他	前立腺がん検診については、賛否両論、様々な意見があるため、受診対象者に検診の利益、不利益の情報を提供する。	検診の利益・不利益に関する情報は、2018年前立腺がん検診ガイドラインのファクトシート（p201、p203）を利用する。

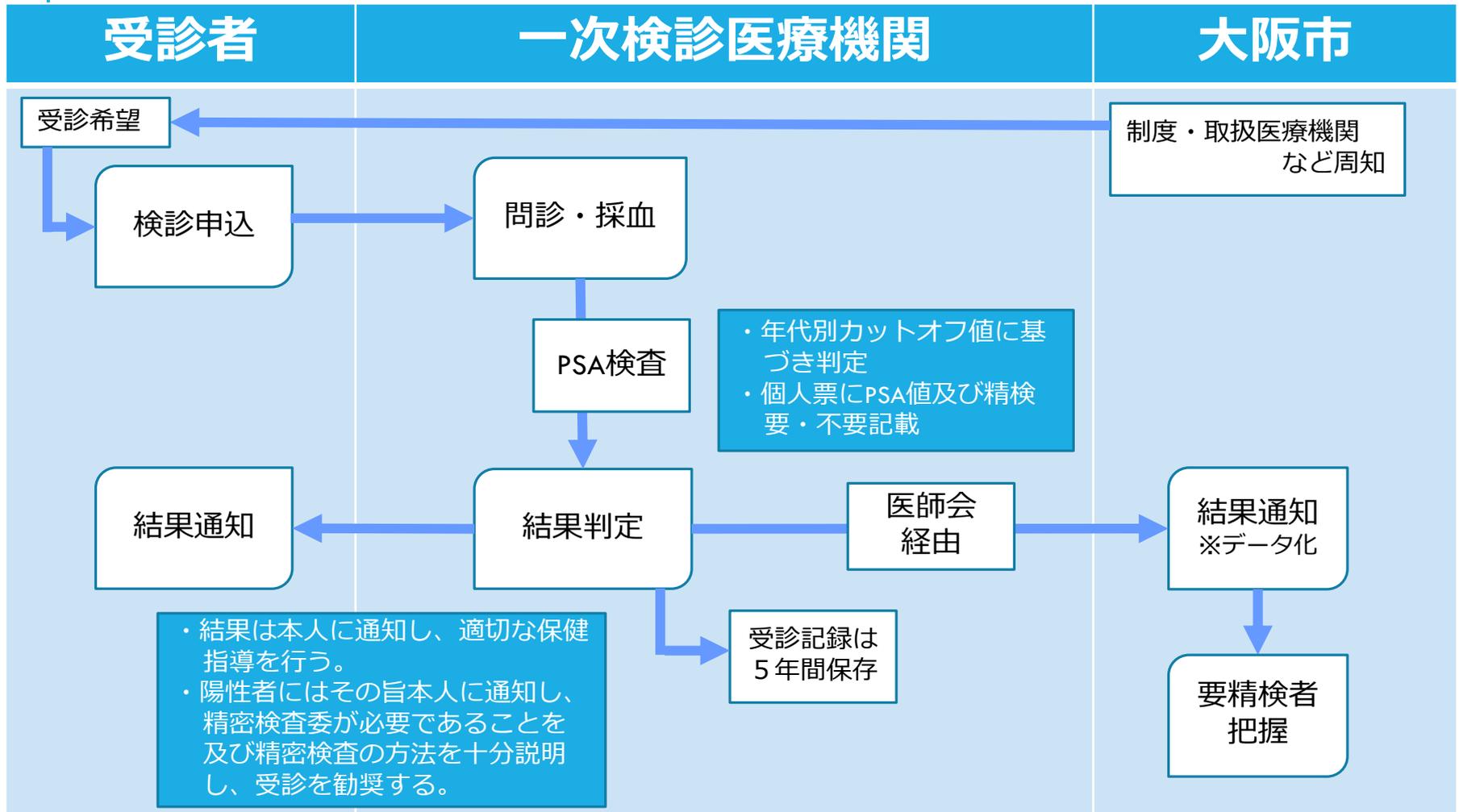
検診フレーム（案）

事前に意見を聴収した検診の内容は次のとおり。

項目		内容
対象者★1	年齢	50～70歳 男性
	検診間隔	5年ごと（50,55,60,65,70歳）
検査方法	PSA検査 問診	血清中のPSAを測定 ★2 未確定：採血量 問診内容 家族歴、治療歴 服薬
判定区分	PSA値による判定基準	年齢別のカットオフ値を設ける★3 50～64歳：3.0 ng/mL 65～69歳：3.5 ng/mL 70歳以上：4.0ng/mL

受診～結果通知の流れ

実施要領・・・資料1
★4



精密検査の結果を把握する 仕組み（前立腺がん）

実施要領・・・資料1
★4

1 検診から一定期間後、検診結果のデータで要精検者を把握

2 精検結果は、精密検査機関⇒市、または、精密検査機関⇒一次
検診実施医療機関⇒市で把握（事前に受診者に同意をとる）

3 未把握分について受診勧奨兼結果把握アンケートを要精検者へ

4 アンケート結果を基に、精密検査機関または一次検診実施医療機
関に照会帳票送付し結果補足（がん疑いは治療機関に結果照会）

(一次) 検診方法および 検診取扱医療機関

➤ 参加基準 (案) ・ ・ 資料2

- 取扱医療機関は、事業開始に先立ち、現行の大阪市がん検診取扱機関 (胃・大腸・肺) に周知し募集。
- 事業開始後は地区医師会を經由し随時受付。(前立腺がん検診のみの参加も可能)

• 受診者数試算

対象者数	50歳以上70歳以下の男性	134,740人	「国勢調査人口－(就業者－農林水産業従事者)」で算出
被験者数	5年に1回 受診率10%	2,695人	他都市の状況・本市他のがん検診の状況から受診率10%と想定

• キャパ

取扱医療機関数	
がん検診	1,642か所

精検（二次検診）の実施医療機関

①MRIおよび生検可能な医療機関 ★5

②泌尿器科専門医のいる医療機関、二次検診（精検）実施医療機関と連携できる病院（クリニック）

②について要検討

- ・ 要精密検査になった場合の検査方法（手順）は？
- ・ すべての精検対象者がMRI・生検を行うものか？

参加基準（案）・・・資料3

受診者記録管理

記録内容（事業評価に必要な内容） ★6

➤ 個人票（問診案） ・ ・ 資料 4

参考：他都市問診票（参考 1）

➤ 精密検査依頼兼結果報告書（案） ・ ・ 資料 5

参考：他都市様式（参考 2）

➤ 集計表

参考：他都市集計表（参考 4）

次回の議題（予定）

- 第1回の議論の整理
- 検診全体像の確定
- 引続き検討を要する内容について